重症心身障がい児の看護ケアに伴う生体反応を非接触で測定できるデバイスの開発

看護学科（小児看護学）　池田　麻左子

● 連　絡　先　TEL：054-202-2660
E-Mail：m-ikeda@u-shizuoka-ken.ac.jp

キーワード　重症心身障がい児，看護ケア，医療的ケア，看護の質，言語的コミュニケーション（意思表出），生体反応，非接触デバイス

重症心身障がい児（以後、重症児）には、快や不快などの感情や思いを言葉で他者に伝える難しさ、筋緊張や皮膚の弱さ、刺激に対する敏感さなどの個性があります。重症児に関わる看護師は、児の表情や動作を察知し、重症児にとって安全・安楽な看護ケア常に意識した実施をしています。一方で、経験の乏しさやスキルの未熟さから、不安や難しさを感じることがあります。私は、小児看護専門看護師として重症児看護を実践してきました。重症児の安全・安楽を重視し、様々な看護師が安心して看護ケアを実施するために、これまでの経験を活かしたいと考えました。看護ケアに伴う重症児の呼吸や心拍数の変化を、直接身体に触れずに測定できるデバイスを用いることで重症児の安楽な状態を予測し、安全かつ安心できる看護ケアの実施に役立てるための研究に取り組んでいます。

アピールポイント　重症児との関わりや看護について、小児看護雑誌に複数の投稿をしています。重症児のよりよいケアを一緒に考えませんか。